

令和 3 年度

# 教育行政執行方針

奈井江町教育委員会

# も く じ

はじめに .....	1
------------	---

## 1. 未来を担う子どもの育成

(1) 学校教育を充実します .....	2
(2) 豊かな心と健やかな体の育成を推進します .....	3
(3) 快適な学習環境を推進します .....	4
(4) 多様な教育機会の支援を推進します .....	4
(5) 子どもの健全な育成を推進します .....	5

## 2. 生涯にわたる学びの推進

(1) 生涯学習活動を推進します .....	5
(2) 楽しく参加できる生涯スポーツを推進します .....	6
(3) 個性豊かな芸術・文化を推進します .....	6

むすび .....	6
-----------	---

## はじめに

令和 2 年は、世界中が新型コロナウイルスに振り回され、本町においても小中学校の長期臨時休業、新社会人激励コンサートを始めとする各種事業や各団体の総会などの中止、延期を余儀なくされるなど、教育分野だけに留まらず、住民生活にも大きな変容を強いられました。

6 月になって学校の再開が叶い、入場者数を制限してのコンサートの実施などが可能になりましたが、何より遺憾だったのは、子どもたちの学びと成長の時間を奪われたことでした。

こうした状況の下で迎える令和 3 年度は、奈井江町の子どもたちに GIGA スクールを促進し、IT を駆使する知識や技術を習得させる一方で、AI だけでは解決できないことを乗り越えて行く思考力や判断力を自ら学び涵養していくため、学校はもちろん、家庭や地域、関係団体と連携しながらの「学ぶ力」「生きる力」の育みが急務です。

また、町民全体が、このコロナ禍を乗り切るためも、文化や芸術、スポーツ活動を通じた“生きがいを感じ、健康で心豊かな生活を実感していくこと、”が大切です。

このことを踏まえ、令和 3 年度に教育委員会が取り組む主要な施策について申し上げます。

## 1. 未来を担う子どもの育成

### (1) 学校教育を充実します

義務教育学校では、引き続き一人ひとりへの細かな指導を実施し、基礎学力の定着を図るため、町独自に教諭を採用し 35 人学級編成を継続します。

また、特別な支援を必要とする児童生徒や保護者にとっても、安心して学ぶことができるよう町費による支援員を配置すると共に関係機関と連携した相談体制を継続し、支援を必要とする児童生徒の早期発見と対応に努めます。

昨年予定していた英語指導助手の 2 名体制の導入は、新型コロナウイルス感染症対策のために来日が叶わず実現に至りませんでした。引き続き関係機関に要望を行い、小中学校に各 1 名を配置する一方で、認定こども園はぐくみでの英語に親しむ活動の充実を図って参ります。

新年度は、学校でのタブレット型コンピュータの使用が本格化していきます。GIGA スクール授業への対応をスムーズに行っていくための研修の実施と共に教職員の皆さんが児童生徒の指導方法や課題改善を検討する奈井江町教育振興会を支援し、より良い指導方法の確立や小中学校で統一した学習規律の浸透、授業づくりの活動を促進して参ります。このほか、各種教材の充実にも努め、とりわけ老朽化の著しかった中学校のビブラフォンほか 5 本の楽器について、更新を行います。

また、学習の定着には、家庭学習の習慣化が大変重要です。

早い時期からの学習面のつまずき解消や 学びの楽しさを通じて家庭学習を習慣化させるため、今まで 3 カ年間実施してきた公設塾の対象を中学生から小学 3～6 年生に変更し、開設期間も常設のものに改め、学校帰りに寄って自学習を行う公設塾に改編します。塾講師には全国から公募した地域おこし協力隊 3 名をすでに内定しており、小学校との連携を図りながら個別指導を進めて参ります。

## **(2) 豊かな心と健やかな体の育成を推進します**

奈井江町には、子どもたちが学ぶべき 素晴らしい生きた教材があります。実際に使われている圃場や海外への輸出を主とする立地企業の工場などに入り、手足を動かして体験し、また目の当たりにして基幹産業を学べる場は大きな財産であり、これらを通じて郷土愛を育み、社会性を身に付ける学習を本年も推進します。

子どもたちが自己の生き方を考え、自立した人間としての道徳性を涵養する道徳教育を推進します。また、子どもたちへのアンケートや教育相談などを通じて、いじめなどの未然防止や早期発見、早期対応に努めると共にスクールカウンセラーを活用し、学校と家庭、地域、関係機関との連携を図り、子どもたちの心の成長を支援します。

児童生徒の登下校など、子どもたちの安全安心を確保するため、地域や団体、関係機関の皆さんで組織する「なえっ子見守り隊」による“ながら見守り、活動を推進します。

### **(3) 快適な学習環境の整備を推進します**

奈井江町教育ビジョン（計画期間：平成 24 年～令和 3 年）が、最終年を迎えます。新ビジョン策定のため、生徒や保護者、学校、社会教育・体育の関係者を始め、町内の各界各層の方たち 30 名で構成する検討委員会を開催し、この 10 カ年の検証と新しい教育ビジョン策定に向けた議論を交わし、奈井江町が目指す教育理念や目標などについて策定して参ります。

### **(4) 多様な教育機会の支援を推進します**

子どもの健やかな発達や円滑な進学のため、幼小中高が連携し、乗り入れ授業や授業交流など、相互理解と相互支援による教育活動の充実を図ります。

経済的理由により就学に係る負担が困難な家庭に対する援助を行います。このうち新入学児童生徒の学用品費については、入学前の早期支援を実施します。

道立の奈井江商業高校については、昨年今年と入学者数が定員の半分程度となっています。引き続き、生徒募集のポスターやパンフレットの製作助成を行うほか、近隣中学校を対象とする募集活動に取り組むなど、多面的な支援に取り組めます。また、保護者に対する支援となっていた通学費の助成を廃止する一方で、生徒たちが学ぶための教材費や各種検定料に対する助成範囲を拡大し、学びの充実や目指す進路が実現し、この学校に来て良かったと実感できる教育活動への側面的支援を拡充して参ります。

## **(5) 子どもの健全な育成を推進します**

引き続き、「子どもの権利に関する条例」の普及促進を図るため、子どもたちの社会参加や「子ども会議」の活動を支援しながら、教育を通じたまちづくりを推進します。

子どもたちの豊かな心を醸成し、観る聴くマナーを習得するため、芸術鑑賞会を開催し、小学生には演劇を、中学生にはコンチェルトホールでのコンサートを行います。

## **2. 生涯にわたる学びの推進**

### **(1) 生涯学習活動を推進します**

町民一人ひとりがその生涯を心豊かにすごし、学びを通じた町民同士のコミュニケーションや地域活動が促進されるよう、若いお母さんたちのニーズの把握などに努めながら、公民館講座を企画して参ります。

季節やイベントごとでの図書展示に工夫を凝らしながら、乳幼児から高齢者まで本に親しみ読書を楽しむ図書館の充実に努めます。年齢を重ね読書から離れざるを得なかった方たちのために活字の大きな本の蔵書を行うほか、乳児に絵本をプレゼントするブックスタート事業を皮切りに 3 歳児と保護者を対象とし本の紹介と読み聞かせを行うブックセカンド、5 歳児に活字の増えた絵本をプレゼントするブックサードなど、関係機関と連携を図りながら、生涯に亘る継続的な読書活動を推進して参ります。

## **(2) 楽しく参加できる生涯スポーツを推進します**

各年齢層に合わせた運動教室の開催など、体育施設の指定管理者や関係機関と協力しながら、町民の健康づくりを支援します。また、経年劣化が進んだ体育館の屋根、外壁の改修に取り組みます。

## **(3) 個性豊かな芸術・文化を推進します**

プロの演奏家から高い評価を受ける文化ホールでは、質の高いクラシックを中心とするコンサートを自主事業として開催して参ります。また、老朽化した調光設備の更新を行います。

## **むすび**

以上が、令和3年度に実施する主要な教育施策であります。

繰り返しになりますが、新年度に実施する教育委員会の大きな仕事の1つは、教育ビジョンの策定です。町民ニーズや社会状況などを的確に捉え、闊達な議論を行って、この先10年間の教育行政の理念、目標について策定して参ります。

迎える新年度においても、皆様のご理解とご協力を心からお願いいたします。